

檜葉駐在現地確認概要(平成26年4月21日～4月25日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認結果	プラント関連 パラメータ
4月21日	2・3号機海水配管トレンチ内 汚染水モバイル式処理装置 稼働状況の確認	2・3号機海水配管トレンチ付 近	<p>○トレンチ内汚染水を処理するためモバイル式処理装置が設置されていた。</p> <p>○2号機はストロンチウム吸着塔にて運転を行っていた。</p> <p>○3号機はセシウム吸着塔にて運転を行っていた。</p> <p>○処理装置により線量が約1/2～1/5に低下していることを確認。</p>	—
4月22日	A排水路及び周辺状況の確認	A排水路	<p>○開渠になっている範囲があり、降雨時に雨水とともに土砂が流入する構造であることを確認。</p> <p>○暗渠になっている範囲においても開口部(雨水排水口)があることを確認。</p>	—
4月23日	乾式キャスク保管状況の確認	乾式キャスク一時保管場所	<p>○乾式キャスクにはそれぞれ圧力計2台、温度計1台が設置され、現地監視建屋と免震重要棟にデータを送信し常時監視が行われていた。</p> <p>○乾式キャスク一時保管場所には4台のエリアモニタを設置し確認が行われていた。</p>	—
	共用プールにおける使用済燃料移動作業状況の確認	共用プール	<p>○4号機使用済燃料プールに保管されていた使用済燃料を共用プールに移動する作業状況の確認を行った。</p>	
4月24日	PCVガス管理システム稼働 状況の確認	1号機タービン建屋	<p>○原子炉格納容器内のガスを管理された経路により放出し、放出される放射性物質の抑制及び作業改善のために設置。</p> <p>○格納容器への窒素封入流量と排気流量がほぼ同じになるように排気流量の調節を行っている。</p> <p>○フィルタユニットにより粒子状の放射性物質の除去を行っている。</p> <p>○週に1回現場パトロールを行っている。</p> <p>○フィルタユニットの交換については、ガスに含まれる放射性物質が想定していたよりも少ないため、設置以来一度も交換していなかった(1号機設置:平成23年12月)。</p> <p>○免震重要等の中央制御室において遠隔監視を行っている。</p> <p>○排気ファンの起動停止操作は、中央制御室からは操作を行うことができず、現場制御盤にて操作を行っている。</p> <p>○現場制御室は施錠されており、関係者以外操作できない状態であった。</p> <p>○弁には銘板が取り付けられており、識別可能な状態であった。</p>	13時20分現在
4月25日	地下貯水槽のモニタリング状 況及び貯水状況の確認	地下貯水槽	<p>○漏えい検知孔等からの試料採取においては、コンタミを防止するため、採取の都度採取容器を取替え、試料採取が行われていた。</p> <p>○地下貯水槽の水位については、免震重要等の中央操作室から遠隔監視が行われていた。</p>	13時20分現在

※現地確認時の写真については、確認結果内容をクリックしてください。